

バッチの操業データを多角的に確認

SPC管理

バッチの工程管理ができていますか？

ユーザ様からの品質要求は年々厳しくなっており、製品の出荷検査だけでなく、製造途中のプロセスデータの管理と提出が求められる様になってきています。

バッチプロセスの各工程状態のSPC管理は、

- ・管理項目が非常に多い
- ・管理データの収集タイミングが複雑
- ・手書き記録が多くオペレータへの負担が高い

という業務のため、管理が徹底されない、データを生かし切れない、という悩みをお持ちではありませんか？

ロットSPCの特長

- 運転支援パッケージExapilotを活用し、SPC管理項目のいろいろな収集タイミングをフローチャートで自由に定義できます。
- SPC管理データはExcelで管理し、各項目のロット毎の変動をSPC管理図にて表示します。項目の切替もスクロールバーで簡単に行えますので、多数の管理項目の把握が容易となります。

重ね合せトレンド

いつもとの違い把握できていますか？

トレンドデータから、いつもと違うと感じることは安定した品質を保つために重要です。

- ・バッチのプロセスデータを過去のバッチトレンドと比較し、今回の運転がいつもと違ってないかを、容易に見ることができます。
- ・重ね合せは3バッチ～10バッチの変化を比較することができます。
- ・Exapilotが工程状態を検知するため、制御システムを変更する必要はありません。

“何となくいつもと違う”ということに、という悩みをお持ちではありませんか？

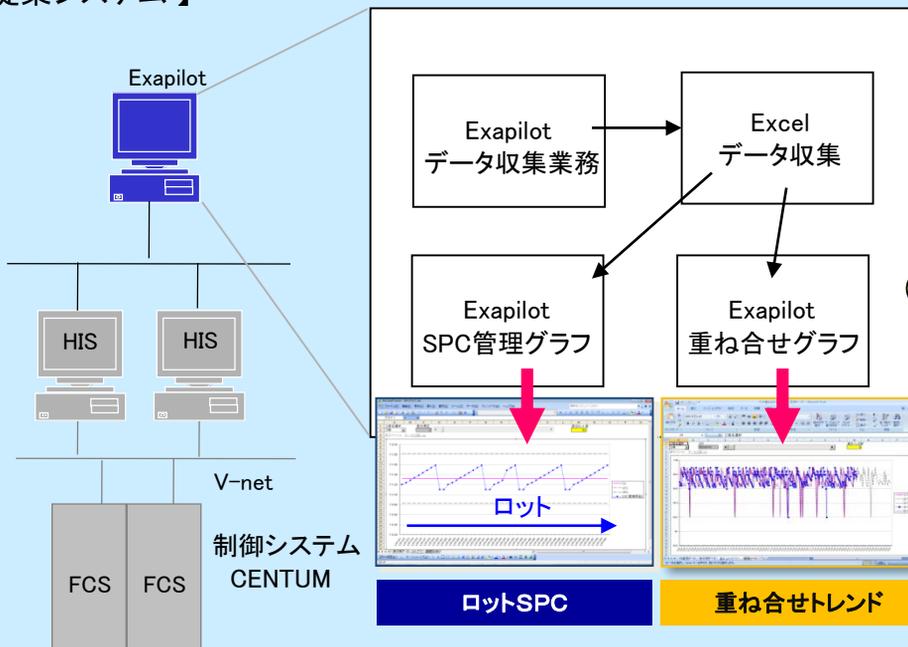
重ね合トレンドの特徴

- 運転支援パッケージExapilotを活用し、バッチの工程の収集タイミングをフローチャートで自由に定義できます。
- トレンドデータはExcelで管理し、品種別・工程毎に過去のトレンドデータを重ねて表示します。タグの切替もスクロールバーで簡単に行えますので、多数の管理項目の把握が容易となります。

本文中に使用されている会社名、団体名、商品名、サービス名およびロゴ等は各社または各団体の登録商標または商標です。

システム構成イメージ

【ご提案システム】



データの収集タイミングがいろいろだけど、フローチャートで定義できて便利！

